



http://www.shinshiyou.com

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL.045(440)3210 FAX.045(440)3209

発行元/公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

発行人/会長 小澤 俊通

編集人/神私幼総務部(広報室)

発行/年3回

発行部数/1700部



INDEX

- 2-3 **寄稿** 保育で問うべきことは何か
●東京大学名誉教授 佐伯 胖 先生
厳しい時代を乗り越えたい
●公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 会長 小澤 俊通

- 4-7 **研修事業部・研究部** 活動報告/研修会報告
「第36回 全日本私立幼稚園連合会設置者・園長全国研修大会」報告
「第35回 関東地区代表者協議会 埼玉大会」にオンラインで参加して

- 8-9 令和3年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会
コロナによって変わるもの変わらないもの
～子どもの笑顔と強く健やかに育つことを願って～
講師 一般社団法人家族・保育デザイン研究所代表理事/東京大学名誉教授 汐見 稔 幸 先生
ケンタガーデン⑬/事務局よりお知らせ

- 10-11 **賛助会員のご紹介**
プレゼンテーション
ヘルサンテスタッフ株式会社/株式会社One play./株式会社丸菱

- 12 **お知らせ** 関東地区教員研修大会2022
お知らせ 令和3年度 幼稚園教育経営研修会のご案内
Pride of KANAGAWA

令和3年度 神奈川県連合会加盟園数・園児数

協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
公益社団法人横浜市幼稚園協会	253	41,084	43,273	-2,189
公益社団法人川崎市幼稚園協会	84	17,495	18,773	-1,278
横須賀市私立幼稚園・認定こども園協会	30	3,880	4,033	-153
特定非営利活動法人藤沢市私立幼稚園協会	29	5,389	5,685	-296
鎌倉私立幼稚園協会	20	2,507	2,627	-120
茅ヶ崎市私立幼稚園協会	14	2,621	2,725	-104
湘央地区私立幼稚園協会	41	6,060	6,201	-141
小田原私立幼稚園協会	12	1,225	1,225	0
相和私立幼稚園協会	28	4,534	4,579	-45
一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会	45	7,249	7,672	-423
逗葉私立幼稚園協会	6	629	613	16
厚木地区私立幼稚園協会	20	2,820	2,974	-154
計	582	95,493	100,380	-4,887

県連設立 1948年(昭和23年)



Profile
プロフィール

岐阜県生まれ。1970年ワシントン大学大学院心理学専攻 Ph. D. 取得。

東京理科大学理工学部助教、東京大学教育学部助教、同教授、同大学院教育学研究科長・教育学部長。2000年4月より青山学院大学文学部教育学科教授、同社会情報学部教授、2015年より田園調布学園大学大学院人間学研究科教授、2021年退職。2012年より公益社団法人信濃教育会教育研究所所長となる。

現在：東京大学・青山学院大学名誉教授、信濃教育会教育研究所所長。

専門：認知科学、幼児教育学

主著：(単著)『幼児教育への誘い』(東京大学出版会)、(共著)『子どもを「人間」としてみる』(ミネルヴァ書房)、(編著)『子どもがケアする世界』(ミネルヴァ書房)、(共著)『子どもって、みことな人間だ!』(フレーベル館)ほか多数。

保育で問うべきことは何か

東京大学名誉教授 佐伯 胖 (さえき ゆたか)



寄稿

私は研究特別委員会B部会の『幼児理解と保育者の役割』で講師を務めて参りました。そこで話したことを以下に要約しておきます。

私は保育者のみなさんが保育実践の中で知らず知らずのうちに陥っている落とし穴が三つあるように思います。

第一は、「保育を問う」ということを「○○のときは、どうすればいいの?」を問うことだとすることです。講演などで結構なお話を聴いても、「じゃあ、結局、どうすればいいの?」の答えを求め、答えらしき結論を(勝手に?)ひきだして、「ああ、そうすればいいんですね。」ということ、「本日は良い勉強になりました。」となる。これは保育者の関心がすべてHOW-TO(いかにあるべきか)にあり、WHAT(それはどういうことか)、WHY(それはなぜなのか)という疑問をもたないということです。どうしてWHATやWHYを問わないのかというと、保育者のみなさんが「まじめに、よく勉強してきたことによるのです。」「勉強」では、何が「正解」かは誰かエライ人(自分ではない)が決めており、それを覚えることや、そういう正解が素早く確実に出せるよ

う練習することに、精を出してきたからです。「正解が出せること」だけを目指すクセが身についていると、何を聞いても「じゃあ、どうすればいいの?」と「正解」だけをほしがるようになってしまっているのです。

第二は、第一の落とし穴から必然的に生まれる落とし穴で、それは「ネバ・ベキ」思考です。HOW-TO思考の行き着く結論は「じゃあ、どうすべきか」、「どうあらねばならないか」ということばかりが気になってくる。その気がかりは、そのことが常に「評価される」ことへのおそれでもあります。ここでいう評価は自分なりの「これでいい」という判断ではなく、外的基準で定められた評価基準をもとに、外部の人から査定される評価です。保育者は「計画書」と「報告書」の提出に追われており、それらが常に「人目にさらされて」「評価が下されるのです。そうすると、保育者は常にさまざまな「評価されること」を「ネバ・ベキ」こととして意識せざるを得ません。

第三の落とし穴は、保育を「子どもの能力を育むこと」だとすることです。ここでいう「能力」は、さきの「ネバ・ベキ」が恐れていた外的評価基準で真つ先に評価される項目です。ようするに「何ができるようになったか」ということが、つねに「問われている」と思い込むことです。さまざまな知的能力(思考力・判断力・表現力など)以外に、最近では「非認知能力」といって、忍耐力(がまんする力)、意欲(やる気)、協調性(みんなに合わせる力)、主体性(みずから進んで行動する力)なども非認知的な「能力」であり、それらは保育で「育むべきこと」だとされる(したがって、なんらかの形で「評価」される)わけ

すから、保育者は不安におびえてしまっています。以上の三つの落とし穴から抜け出るには「どうすればいいのでしょうか」——こういう疑問をもつてしまうと、それは第一の落とし穴にはまってしまっている。

そうならないためには、HOW-TOではなくWHAT/WHYを問うことです。保育において問うべきWHAT(それはなんであるか)は、「子どもって、そもそもどういう存在なのか」という問いです。それに対して、従来当然視されていた「幼い、未発達な存在」という子ども観を脱して、「子どもって、生まれたときから、みごと人間なんだ」ということを、あらためて確認していただきたい。

つぎに問うべき問いはWHY(どうしてそうなのか)です。なぜ、子どもは「みごと人間」なのか。その答えの一つとして私が講演でお見せしたのは、NHKスペシャル「Humanなぜ人間になれたか」の録画でした。ここでは、人類が現在のホモサピエンスに進化するときに「他者を思いやる心(empathy)」を身につけたことが大きく寄与していることが、「黒曜石の分布」の発掘から実証されていました。そのことを言いかえると、「子どもは(むしろ人間は)、他(モノ、ヒト、コト)をケアしないではおられない」存在だということ

です。このことを踏まえると、「保育とは何か」という、保育者が問うべきWHATへの答えが見いだされます。それは、「保育とは、子どもがケアしている世界をケアすることである」ということです。以上が、私がB部会の『幼児理解と保育者の役割』で話したことの概要です。

厳しい時代を乗り越えたい

年末を迎え、加盟園の皆様にはご健勝で過ごしのことと存じます。コロナ禍の中、二期の各種行事の運営も、感染防止対策にご苦労頂いたことと思っております。感染者の減少傾向が続く、治療薬の開発も実用化に向けて進んでいると報じられています。まだまだ気が緩めることは出来ませんが、このまま終息してくればと願うばかりです。各園にとりましては、園児募集や人材確保など対応すべき課題が山積ですが、希望溢れる明日のためにもご努力頂きたいと強く思うところです。

■設置者・園長全国研修会に参加して

10月25日、福島県郡山の地において、二年ぶりに「設置者・園長全国研修大会」が開催されました。本来なら、令和2年度に開催される予定でしたが、コロナの蔓延のため一年延期されました。私は、大会を担当する全日・経営研究委員会の担当副会長として、前日から郡山に入りました。様々な会議や打ち合わせが進み、夕刻からは福島県私幼の平栗団長や役員の皆様と懇談する機会がありました。福島県では、東日本大震災と原発事故から10年を経過したものの、復興への道のりはまだまだ厳しい状況にあります。平栗団長から、全国からの支援に感謝する言葉が何度も繰り返されました。未だに再開できない私立幼稚園が4園あることも知りました。私たちは、被災された方々のことを忘れてはならないと、改め

て感じた次第です。懇談会後、神奈川から参加したメンバーと合流して、久々に会食することが出来ました。

やはり膝を交えての語らいは、お互いを知ることの出来る良い機会です。感染防止に配慮しながら、懇談できる機会を徐々に再開していきたいと感じました。研修大会についての詳細は、参加された先生方からの報告に委ねたいと思います。

■園児募集停止の園が出てきました

少子化の波は益々厳しく、幼稚園教諭の確保にも困難が続いています。更に園によっては、設置者・園長が高齢化し、後継者がいない状況も見受けられます。ここ数年は、園を閉じることを見越して、新入園児の募集を停止する園が出てきました。今年度は例年以上にその動きが増えているように感じます。それぞれの事



公益社団法人
神奈川県私立幼稚園連合会

会長 小澤俊通

情があり、一概には申し上げられませんが、なんとか園を継続する方策を模索して頂きたいと思っております。いきなり廃園するのではなく、一旦は休園して事態の推移を見極めるのも一つの選択肢ではないかと思っております。特に学校法人の場合は、廃園に伴う法人解散の手続きが必要になります。法人に残余財産がある場合は、手続きが複雑になってきます。最終的に、残余財産は国に帰属するとなっており、慎重な対応が求められます。

■厳しい時代を乗り越えたい

少子化、教員確保、設置者・園長の高齢化、施設の老朽化等、越えなければならぬ壁は次から次へと出てまいります。更に新型コロナウイルスの蔓延で、保育や行事そのものが見直さざるを得ない状況におかれています。しかし、創立者が高い志を

持ち、開園したそれぞれの私立幼稚園には、積み重ねてきた歴史と培った保護者との信頼関係があります。そして、目の前には、未来を託す子どもたちがいてくれます。

世界の中でも、評価の高い日本の幼児教育は、その灯りを絶やすことなく次代へと繋いでいかなければなりません。たとえ小規模になろうとも、しっかりと運営できるだけの財政支援を行政に要望していかなければなりません。全日本私立幼稚園連合会や神奈川県連が存在する意義は、この支援を勝ち取ることにあり、いつでも過言ではありません。引き続き、振興活動へのご協力をお願い致します。

先の総選挙の結果、自公政権が継続することとなりました。岸田総理は、子育て世代への給付や「こども庁」の創設に意欲を示しています。さらに保育士等の給与引き上げを目指し、公定価格の引き上げにも言及しています。今後も政策の行方を注視し、全日本私立幼稚園連合会と共に活動してまいります。間もなく新たな年を迎えるにあたり、加盟各園の設置者・園長先生を始め、教職員の皆様の限らないご健勝を心からお祈り申し上げます。

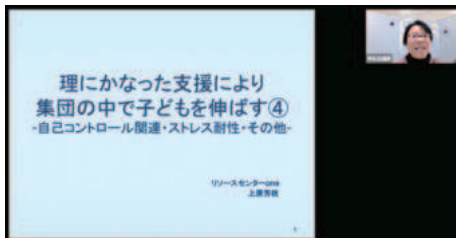
研修事業部 特別支援教育研修会兼10年経験者研修会

自己コントロールにかかわる代表的な要因と対応

講師 上原芳枝 先生

特定非営利活動法人発達支援機関リソースセンターOne代表理事
臨床発達心理士

10月27日に特別支援教育研修会兼10年経験者研修会が開催されました。全6回の研修の4回目です。講師はリソースセンターOneの上原芳枝先生です。近年、特別支援が必要な園児やその周辺にいる手をかけてあげたい園児が増加しており、本研修会への関心は年々高まっています。今回も217名を越える受講がありました。



ロールに関わる要因と対応、及びストレス耐性について学びを深めました。ストレス耐性とは、ストレスを受けた時どれくらい耐えられるかという事ですが、特に要配慮児はストレス耐性が低く、自己コントロールできずにテンションが異常に上がってしまったったり、パニックに陥りやすいので今回の内容はとても参考になったと思います。

また、保育者が支援に失敗してしまった場合の次の対処方法なども、具体的な事例をたくさん紹介してくださいました。

特に衝撃的だった事は、環境設定の場面で要配慮児のために、支援する教員をやみくもに増やす事は場合によっては、環境刺激を強めて逆効果になってしまうという事です。配慮児のもっている気質を良く理解した上で適切な環境設定をしなければならぬ事を学びました。

今後の研修会でも集団の場で子どもが何を求め、その折々での臨機応変な対応方法など更に詳しく学んでいく予定です。

(文責) 研修事業部 山口 倫

研究部 若手後継者のための保育勉強会

歴史を踏まえた幼児教育の重要性とこれからの課題

講師 汐見稔幸 先生

一般社団法人家族・保育デザイン研究所代表理事
東京大学名誉教授



「歴史を踏まえた幼児教育の重要性とこれからの課題」ということで、オンラインで研修をしていただきました。

「もうひとつの学校」という本に載っている宮原洋一さんの撮影した子どもの写真を見て、70年代の生活を通して生活の中で何を学んできたのか？ということと振り返りました。子どもが10数人で群れて遊ぶ姿。そこには、幼児から小学生がいる。老人と1・2歳児が一緒にいる。何も無い所で、遊びを生み出している姿等が映っていました。

80年代。外で自由に遊ぶ子ども達の姿を写真に収めることができなかつたそうです。その姿が日本から消えていたのです。

83年にファミコン発売。ディズニールンド開業。文化が変わってきました。中学生が暴れ、無関心、生活の乱れ。それへの抵抗を教育で行った結果、教育は子どもの「ダメ」な所を見つけ、それを良くしようとして行こう管理主義になりました。激しいいじめが始まり、自殺する子どもが増え、訓練主義の教育になりました。90年代が歴史的に大事な分岐点となる「ゆとり教育」。幼稚園は5領域になりま

研究部 乳児保育セミナー

今求められる乳児保育

講師 井桁容子 先生

非営利団体コードモノミカタ代表理事
乳幼児教育実践研究者

今年度の乳幼児セミナーが11月10日より3回シリーズでスタートしました。講師は今年度も乳幼児教育実践研究家の井桁容子先生で、ここ数年この講座の講師をお願いしています。

「今求められる乳児保育」として、第1回目は「1. 子どもの人権と保育者のかかわり」という演題で行われました。コロナ禍の保育ではマスクをしている場面が多く、子どものことを心も含めてしっかりと見ることの大切さに気がされました。大人になると思い込みや決めつけで物事を見てしまいがちになります。そしてそれが正しいことと判断してしまいがちになるために、子どもを注意深く観察することが保育には重要になってきます。子どもは五感を使って様々なことを感じたり学んだりして、その五感を使って表現しています。そこには無意識に本音が表れやすいので、子どもの本音が見える目を持つことが保育者として大切ということ学びました。



第2回目は11月17日に「2. 子どもと共に育つ保育者」という題で開催されました。

A部会では、「遊びを中心とした保育」について、保育実践を通して学ぶことを目的とし、その学びを深めるために、参加者による語り合いを大切にしています。参加者の先生方にとっても、この研究部会は主体的・対話的な学びを大切にしているといつていいかもしれません。

そうしたA部会ですが、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を考慮し、Zoomを使ったオンライン研修を駆使して、オンライン上での語り合いを中心にして、オンラインで行ってききました。講師である佐藤先生のアドバイスを、A部会スタッフの先生方による協力もありながら、都度の改善を重ねてきましたが、対面で保育実践の空気を肌で感じ、その保育について直接語り合えることの刺激や気づきは机上で行う研修よりも多くの学びがあります。一方で、今の社会状況の中で多くの人流が発生する対面での研修の実施は非常に難しく、何かできることはないかと常に感じていました。

そこで、新型コロナウイルス新規感染者数の減少がみられた9月より、新しい試みとして、公開保育を映像として記録し、それを参加者の方々に見て頂く【オ

研究部 研究特別委員会A部会

遊びを中心とした保育

講師 佐藤康富 先生

東京家政大学教授



「遊びを中心とした保育」として、保育実践を通して学ぶことを目的とし、その学びを深めるために、参加者による語り合いを大切にしています。参加者の先生方にとっても、この研究部会は主体的・対話的な学びを大切にしているといつていいかもしれません。

そうしたA部会ですが、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を考慮し、Zoomを使ったオンライン研修を駆使して、オンライン上での語り合いを中心にして、オンラインで行ってききました。講師である佐藤先生のアドバイスを、A部会スタッフの先生方による協力もありながら、都度の改善を重ねてきましたが、対面で保育実践の空気を肌で感じ、その保育について直接語り合えることの刺激や気づきは机上で行う研修よりも多くの学びがあります。一方で、今の社会状況の中で多くの人流が発生する対面での研修の実施は非常に難しく、何かできることはないかと常に感じていました。

オンライン公開保育」を行いました。公開保育を行う園の先生方へのヒアリングや、保育の映像撮影は事前に行い、A部会の先生方はその情報や映像を研修当日にご覧頂きます。そして、その映像を見た上で、オンラインで話し合いを行います。その話し合いの場には公開保育を実施した現場の先生方も参加し、その映像当日の保育について、また、先生方の悩みなどを語って頂いたことで、その話し合いに臨場感や深みを与えてくれました。参加者の先生方からの評価も好評のようでした。

今回はオンライン公開保育という新しい形を行いました。霧の中を歩むような不安もあり、まだまだ多くの課題、技術不足を痛感しています。しかしながら、A部会に参加して頂ける先生方のために、さらには、より良い保育に出来る子ども達のために、A部会スタッフ皆で歩み続けていこうと感じています。

最後に、この新しいA部会の試みに快く受け入れてくださった小田原のれんげ幼稚園の園長先生以下諸先生方に感謝申し上げます。

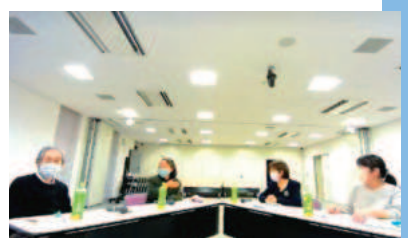
(文責) 研究部 難波忠弘

幼児理解と保育者の役割

講師 佐伯 胖 先生 東京大学名誉教授

B部会は、講師に東京大学名誉教授の佐伯胖先生をお迎えし、『幼児理解と保育者の役割』というテーマで、昨年度から研究を進めている会です。副テーマを、「今、この時期だからこそ、改めて幼児教育の在り方を問い直す」とし、昨年度は佐伯胖先生から、これまでの日本の教育の問題点や乳幼児期の子どもの本来の姿(子どもは未熟に生まれて、だんだん人間になっていくのではなく、生まれた時からみごとに人間であり、そして他者を思いやる気持ちをしつかり持っている姿など)そして保育者がその姿を正しく理解し、人間である子どもに誠実に向き合っていくことがいかに大切かについて、貴重な映像などをお話し頂きました。

2年目である今年は、これらのお話をもとに実際の保育現場では、子どもたちの姿をどのように捉え、理解し関わっていくのが良いのかということについて、受講者から具体的に実践事例を発表して頂き、そのつど佐伯先生から、コメントを頂くという形で研究を進めてきています。実際に発表をされた保育者や、受講されている方々からは「自分の子どもに對



する接し方・見方が、先入観にとられすぎていて、本来のその子の姿を見失っていたことに気付かされた。」「今まで、子どもの為という思いで保育を行ってきたつもりだが、実際は子どもの方が必死に私に合わせてくれていたのではないかと思うと、子どもに申し訳ない気持ちでいっぱい。」「大人の都合に子どもを引っ張るのではなく、子どもがどうしたいのかという思いや気持ちを、常に子どもに問いながら保育をしていくことの大切さをより感じさせられた。」などの感想が、多数寄せられています。

このB部会が、受講者の方のこれまでの保育観や、保育姿勢を見つめ直す機会になっていくと共に、今後の幼児教育の在り方を問い直すきっかけにもなっていくというのを、回を終えることに感じさせられております。スタッフたちも大変嬉しく感じながら、お手伝いをさせて頂いているところでです。

(文責)研究部 森本壽子

「第36回 全日本私立幼稚園連合会設置者・園長全国研修大会」報告

記念講演

医療法人仁寿会菊池医院院長、菊池記念こども保健医学研究所所長、小児科医 菊池 信太郎 氏



令和3年10月25日に福島県郡山市で感染防止対策をされている中、対面とZoomで開催されました。

福島のこともたちが直面した10年前の東日本大震災による環境の変化を災害後の子どもたちのケア、成育環境の創造を医療面から診て、運動嫌いのため、運動能力の低下による肥満傾向児の出現率の比較、戸外遊び時間より、ゲームやネットをする時間の長さによる体力の低下のお話を頂きました。それを改善するには、地域・企業・保育所・幼稚園・学校、そして家族、子どもが主役の居心地のよい街創りが大事で、それを福島から日本全体に広げたいという

う意気込みの講演でした。鼎談では、文部科学省初等中等教育局幼児教育課長・大杉住子氏、全日本私立幼稚園連合会会長・田中雅道氏、一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長・安家周一氏の三方による、幼小連携を見据えた今後の幼児教育の在り方について各氏からの発言がありました。特に印象に残っている事柄は、かけはし教育の重要性や質の向上、子ども庁についての内容でありました。

全日本私立幼稚園幼児教育研究機構からの報告があり、同専務理事の加藤篤彦氏から、法人としての対応と未来への課題に向けてのお話がありました。



特に、免許状更新講習や幼稚園ナビについての事柄が気になりました。また2つの研究講座が開設されました。振興と認定こども園についてです。以下は、筆者が参加した「研究講座1の振興」の報告です。パネリストは、文部科学省初等中等教育局幼児教育課長・大杉住子氏、全日本私立幼稚園連合会・安達護氏、

全日本私立幼稚園連合会政策委員会委員・藤田聡氏の方々の、私学助成園および新制度園の今後のあり方についての発言がありました。基本的視点は、幼稚園における「社会に開かれた教育課程」の意義について、4つの論点から発言がありました。

(文責)広報室 橋川好二

「第35回 関東地区代表者協議会 埼玉大会」にオンラインで参加して

なんとオールドスクールの価値観でお恥ずかしい限りであるが、オンラインのミーティングというものにまだ慣れることができず、本当にこれでお互いの意思疎通がきちんと伝わっているのだろうか、と懐疑的なまま「退出ボタン」を押すことも多い。



仕事上ZoomもGoogle Classroomも使わなくっちゃいかんという現状を認識しながらも、ディスプレイに写る自分の姿はどこ

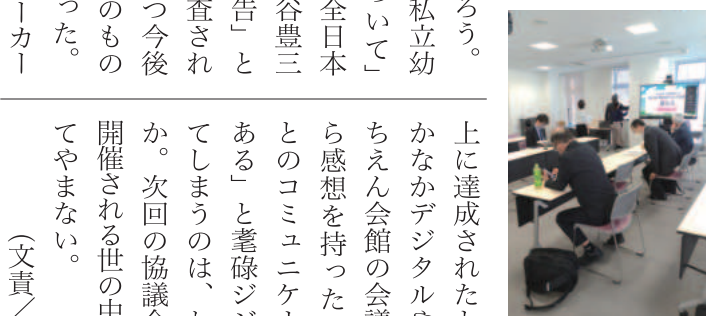
となく儂く自信なさげである。そんな現状に取り残されそうなの2021年11月12日、オンライン開催された「第35回関東地区代表者協議会埼玉大会」に参加した。デジタル難民ジジイの参加記やいかに。結論を先に言ってしまう「やるじゃないか、デジタル」である。全埼玉私立幼稚園連合会副会長 小澤尚久氏の挨拶に始まり、各団体の挨拶と祝辞も明確に受けとることができ、お互いの顔と姿を確認しながらの会は、おごそかにかにつつがなく進行した。

その後の「現代に生きる渋沢栄一」受け継ぐべき思想と行動」という井上潤氏

の講演も機知と知識に満ち溢れたもので大いにためになった。今後「青天を衝け」を見るたびにきつと今日の日のことを思い出すであろう。各県の私学行政担当者による「私立幼稚園・認定こども園への支援について」と名付けられた90分間の研修も、全日本私立幼稚園連合会政策委員会 水谷豊三氏による「子ども・子育て会議報告」という題目の研修も端的に内容が精査されたもので、大変わかりやすく、かつ今後の幼稚園の保育活動に有用な内容のものであった、と個人的に好ましく思った。

途中いくつかのマイク設定やスピーカーの都合など改善箇所が散見できたことも確かではあるが、協議会の内容をお互いが理解するという目的は十分以上達成されたといつてよいだろう。なかなかデジタルやるじゃないか、とよちえん会館の会議室で後片付けをしながら感想を持ったものの、「やはり人と人とのコミュニケーションの基本は対面である」と耄碌ジジイの繰り言をつぶやいてしまうのは、わがままに過ぎるだろうか。今回の協議会が、通常通りの形態で開催される世の中に戻っていることを願ってやまない。

(文責)総務部次長 野末晃秀



研修会報告

研究部主催 研修事業部主催 経営管理部主催

開催日	研修名	会場	講師	テーマ	参加者数
9/15(水)	特別支援教育研修会兼10年経験者研修会 第3回	オンライン研修 (ZOOM使用)	特定非営利活動法人 発達支援機関 リソースセンターone 代表理事 臨床発達心理士 上原 芳枝 先生	基礎講話：理にかなった支援により集団の中で子どもを伸ばす③ -環境刺激の処理困難・パニック-	232名
10/27(水)	特別支援教育研修会兼10年経験者研修会 第4回	オンライン研修 (ZOOM使用)	上原 芳枝 先生	基礎講話：理にかなった支援により集団の中で子どもを伸ばす④ -自己コントロール関連・ストレス耐性の問題-	217名
11/15(月)	若手後継者のための保育勉強会 第3回	オンライン研修 (ZOOM使用)	講師：一般社団法人家族・保育デザイン研究所代表理事 東京大学名誉教授 汐見 稔幸 先生 コーディネーター：四季の森幼稚園園長・玉川大学教授 若月 芳浩 先生	歴史を踏まえた幼児教育の重要性和これからの課題	33名
11/10(水)	資質向上セミナー【乳児保育セミナー】 第1回	オンライン研修 (ZOOM使用)	非営利団体コドモノミカタ代表理事 乳幼児教育実践研究家 井桁 容子 先生	今求められる乳児保育 1.子どもの人権と保育者の関わり	85名
11/17(水)	資質向上セミナー【乳児保育セミナー】 第2回	今求められる乳児保育 2.子どもと共に育つ保育者 -養護と教育・子ども理解-		82名	
11/24(水)	資質向上セミナー【乳児保育セミナー】 第3回	今求められる乳児保育 3.子育て支援と保育実践		85名	
11/24(水)	102条園研修会	オンライン研修 (ZOOM使用)	税理士法人ゆびすい 東京支社 リーダー 柏木 直紀 先生	今後も幼稚園を運営していくために ~102条園が今後も幼稚園として残るために~	21名

オンライン開催

令和3年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会

コロナによって変わるもの 変わらないもの

～子どもの笑顔と強く健やかに育つことを願って～



講師 汐見稔幸 先生
一般社団法人家族・保育デザイン研究所代表理事
東京大学名誉教授

日時：令和3年11月19日(金)10:00-12:30
会場：かながわようちえん会館
開催方法：YouTubeLive配信

文責／神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 三井侑子

澄みわたる秋空の下、今年度も昨年同様 YouTubeライブセミナーでの研修大会が開催されました。早朝にもかかわらず県内全域より大変多くの会員の皆様にご視聴いただき、誠にありがとうございました。

はじめに、父母連・寺尾康子会長より、子どもを取り巻く厳しい状況の中で子どもたちの笑顔と健康を守るための環境作りに向けた挨拶があり、続いて県連・小澤俊通会長より挨拶がありました。また、「来賓の私学振興課長・山中毅様より「未来を担う子ども達のために更なる子育て支援の拡充を」とのお言葉を頂戴し、次世代育成課長・川上亮様には「全ての子どもが安心して暮らしていけるような環境を作っていきたい」との心強いお言葉を頂きました。改めて、私たちの子育てには、多くのご支援とご協力があつて成り立っているものだと認識し、感謝致しました。

幼児教育のさらなる発展を願う宣言をもって開会式が終了し、NHK Eテレ「すくすく子育て」でおなじみの汐見稔幸先生による講演が始まりました。

昨年の春から私たちが襲ったコロナウイルス感染拡大で、子どもたちとの生活も変化し、幼稚園の多くの行事も中止せざるを得ない事も多かったと思います。今研修大会では、先生の楽しいエピソードと共に「コロナと闘いながら、上手に付き合いつながりながらこれまで以上に生活が楽しいものとなるよう、どのように過ごす」とよいか」を様々な視点から教えて頂

きました。子どもは自分がこれから生きていく社会を漠然と考えているそうです。コロナ禍で保護者が神経質になりすぎて、子どもが今まで気兼ねなくやっていたことに制限をかけてしまうという事も起きているのではないのでしょうか。子どもは理屈よりも感覚で生きていて、コロナ禍の影響で不安を抱えている子どもも増えているそうです。

では、「どのようにすれば子どもの不安を取り除いてあげることができるのか」ですが、子どもの心(脳)にオキシトシンという幸せホルモン(脳内ホルモン)を増やしてあげることが大切だと仰っていました。

子どもの嬉しいこと、楽しいこと、悔しいことに共感し、生まれてきてくれてありがとう、と抱きしめてあげること、この幸せホルモンは分泌されるそうです。なるべく丁寧なその状態を作つてあげること、子どもは不安な気持ちから解放されると教えて頂きました。

ヨーロッパでは、夕方勤務が終了するため、夕方から家族との時間を楽しむ事ができるそうです。日本でもコロナ禍での在宅勤務の増加により、家庭文化作りの可能性の増大につながると教えて頂きました。家族みんなで料理をしたり、楽器を演奏したり、自然の中で何かを発見したり、小さな頃から様々な「文化」を体験させて教えてあげることが大切だと



そうです。先生のご家庭でも週末は山へ行き自然を楽しむことなどを文化として取り入れていたそうです。出来た喜びを感じさせてあげることや、「手間暇かけてよりよく作ること」を子どもと一緒に取り組むことが、家族の幸せにつながるとお話しされました。

また、今日のITの進歩によりAI社会で生きる子どもたちですが、コロナ禍でネットやゲーム、タブレットの使用頻度に頭を悩ませている保護者の方も多いと思います。最近では依存してしまいう子どもは以前より減ってきていて、そのことによつて他の事が劣るといふ事はほとんどの場合そうだと思います。ICT環境でAIの世界を楽しんだり、キーワードを入れて検索したり、オンラインで遠くに住む友人との気象情報交換に利用するなど、使い方を工夫して自分で調べ体で感じ、上手に付き合つていただきたいと思います。

- ① 手仕事力、文化を体に刻み込むこと。
料理や絵画、ピアノ、ダンスなど、上達したことを一緒に喜び合い、技を次の世代に伝えていくこと。
- ② 人との関わり力、気さくさ、人の役に立ちたいと思うこと。
子どもは小さい時から「親に深く愛されている、信頼されている」と思うことが示すことができ、家族みんな心豊かになる。とても素敵なお話だと思われました。

とで人間関係を築いて行けるようになる。人の役に立ちたいという思いを膨らませ、共感能力を養ってあげること。③ 問いと答えの間の充実、答えのない世界を楽しむこと。
人間は試行錯誤があることで学ぶ。そ



してその時間を楽しんで自分なりの考えを持つこと。
そしてこれからの時代は、非認知的スキルが問われていくとのこと。
リーダーシップ、落ち込んでいる人を励ます、まとめることのできる人は好奇心の高い人、感情コントロールスキルの高い人だと教えて頂きました。
幼稚園でも家庭でも、子どもの自主性や自発的な活動を増やしてあげると良いそうです。
さらに「善く見れば善く育つ」という言葉を教えていただきました。

最後に、汐見先生の講演で心に響いた言葉があります。
『どんなに忙しくても、食事の時間だけは急かしたり怒ったりしないこと』。食事の時間に家族みんながその日あったことを話すことで、絆がもとのすこく深まるそうです。
「今日は何を話そうか? 今日は何が楽しかったのか?」を考え語りあうことで、楽しさも増進し子どもにも関



この機会に感謝すると共に、今後の子どもたちと過ごす時間にお役に立てただけであれば幸いです。



©ビッグ錠

事務局よりお知らせ

総務担当の伊豫由紀です。昨年8月より産休・育休をいただき、本年9月に復職いたしました。現在、育児短時間勤務中ですが関東地区教員研修大会に向け、臨時雇用の丹羽律さんと力を合わせてこれからも、皆様のお力になれるよう頑張ります。

伊豫由紀

丹羽 律

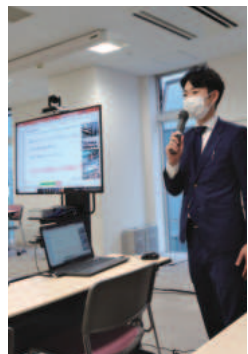
プレゼンテーション Presentation

運営委員会でサービス紹介いただきました！

9/8 **ベルサンテスタッフ株式会社**
<https://www.bellsante.co.jp/>



幼保学生の就職サイト「ほいコレナビ」の運営会社であるベルサンテスタッフより、教員採用の現状「あるある」をお話いただきました。園宣伝のために、「ホームページを



リニューアルしたり」「求人票の配布学校を増やしたり」「養成校へ挨拶回りに行くようにしたり」は、的を得た策では無いそう。これ以上お知りになりたい場合は、直接お問い合わせください。プロの知見は奥が深い……。

10/12 **株式会社 One play.**
<https://oneplay.co.jp/>



暗転した会議室、ストリートダンスの音楽とともにダンサー3人が登場。キレのいいダンスに会議室は一瞬にしてステージに早変わりしました。2012年より中学校体育では男女ともダンスが必修化。小学校の指導要領にも「表現運動」としてダンスが組み込まれ、



子どもは実に9年間通してダンスを学ぶこととなります。その入り口としての幼稚園でのダンス教育の意味を熱く語っていただきました。

11/9 **株式会社丸菱**
<https://www.marubishi.ne.jp/index.html>



宇宙服のような青いビニールのガウン、青い靴カバー、青いニトリル手袋。そしてオーバーヘッドタイプのマスク。コロナが無ければご縁のなかった商品が今や必需品となりました。丸菱の商品はプロ仕様。オーバーヘッドマスクは耳が痛くない優れたもの。また、ガウンと手袋を装着すると肌の露出が無くなり安全・



安心がより担保されます。仕入れ先が多く欠品の心配も無いとのこと。一歩進んだ園の安心・安全をご相談ください。

賛助会員のご紹介

フレール館
株式会社フレール館
 URL : <https://www.froebel-kan.co.jp/>
 事業内容：月刊保育絵本「キンダーブック」や児童書の出版／保育用品の企画・販売 他
 〈本社〉〒113-8611 東京都文京区本駒込6-14-9 TEL. 03-5395-6600
 〈神奈川支社〉〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4485-1 TEL. 045-937-3421




株式会社 写真のワタナベ
株式会社写真のワタナベ
 URL : <http://watanabe-sps.com/>
 事業内容：幼稚園・保育園・学校写真撮影、卒業・卒園アルバム制作
 〒230-0001 横浜市鶴見区矢向6-4-2
 TEL. 045-572-9239 FAX. 045-572-9240
 E-mail: info@watanabe-sps.com



ISHIGURO ISHIGURO PRINTING
有限会社石黒印刷所
 事業内容：デザイン制作、印刷全般
 〒232-0056 横浜市南区通町3丁目50番1号 シティコブ 弘明寺101号
 TEL. 045-713-0080 FAX. 045-713-0036
 E-mail: isi-guro@yk.netlaputa.ne.jp



◇一般商業印刷全般を取り扱っています。
 (オンデマンド印刷・安価、短納期でのご提供)
 ◇デザイン、撮影等を活かした全工程の充実
 ※企業・個人を問わず丁寧迅速な対応をモットーに、一般印刷以外にも幅広いネットワークを活かし、広報・宣伝・特殊印刷など、様々なニーズにお応えしています。

株式会社こどものとも
株式会社こどものとも
 URL : <https://kodomonotomo.net>
 事業内容：書籍・遊具・教育関連商品・その他の卸売
 〈横浜営業所〉〒245-0003 神奈川県横浜市泉区岡津町136-4
 TEL. 045-410-9031 FAX. 045-410-9032



福音館書店の正規販売代理店として、国内外で高い評価を受けている絵本と、アトリエキティのヨーロッパの木のおもちゃを中心に、子どもたちの健全な成長に最良の商品を多数ご提供いたします。

ひかりのくに株式会社
ひかりのくに株式会社 横浜営業所
 URL : <https://www.hikarinokuni.co.jp>
 事業内容：図書出版及び保育用品・教材の販売
 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町648
 TEL. 045-534-1521 FAX. 045-534-1522
 E-mail: yokohama@hikarinokuni.co.jp



創業以来培ってきたノウハウと、日々生まれる新しいアイデアとを融合させることで、日本の未来を背負う子どもたちのために、ひかりのくににだからこそできることに挑戦し続けてまいります。

株式会社ワールドライブラリー
 URL : <https://www.worldlibrary.co.jp/>
 事業内容：海外翻訳絵本のレンタルサービス
 〒146-0091 東京都大田区鶴の木2-8-4
 TEL. 03-6684-0845




絵本を開くと、世界がひらく。世界の翻訳絵本レンタルサービスです。毎月一回異なったラインナップでお届けします。毎月お届けの本と交換され、いつでもキレイな絵本が揃います。

株式会社ネエチア
株式会社ネエチア
 URL: <https://www.e-nature.co.jp/>
 事業内容：各種セキュリティ機器の販売および施工保守事業／警備・総合ビル管理事業／放送機器サポート事業
 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上1-7-38 TEL.0467-77-2222



お客様の数だけ、安心の形がある。
 創業当初より50年間培ってきた豊富な納入実績と、長年蓄積したノウハウで、最新のテクノロジーに対応した技術力をもってホームセキュリティから製造工場などの大規模施設までお客様に最適な各種セキュリティシステムをご提案いたします。

中越クリーンサービス株式会社
 URL : <http://www.chuetsu-cs.co.jp>
 事業内容：・佐渡海洋深層水の販売 ・AEDのレンタル・販売
 ・ビルメンテナンス・お掃除代行 ・介護福祉用具のレンタル・販売
 ・マット・モップのレンタル ・コロナウイルスの消毒作業



関東営業部：〒111-0051 東京都台東区蔵前3-19-11 中越蔵前ビル3F
 TEL. 03-5821-5823

AED(自動体外式除細動器)は神奈川県私立幼稚園連合会加盟園様向けに、特別価格でご案内しております。また、導入時に取り扱い説明会も実施しております。お問い合わせ、お見積り等お気軽にご連絡ください。

賛助会員を広く募集します
 加盟園の皆様からのご紹介をお待ちしています。
 ぜひ県連事務局へご連絡下さい。



事業者名/事業内容
(株)ニシハタシステム/日常業務から災害時まで使えるIP無線機
(株)安田物産/給食から燃料までライフラインエネルギーを総合的に提供
(株)アイコーメディカル/給食サービス業
(株)みつばコミュニティ/幼稚園バス専門の運行管理
(株)ジャクエツ/園舎設計・遊具教材の製造販売
(株)矢部プロカッティング/幼稚園・中学校・高等学校制服製造及び小売業
(株)フレール館 神奈川支社
(株)写真のワタナベ
(有)石黒印刷所
(株)こどものとも 横浜営業所
ひかりのくに(株) 横浜営業所
(株)ワールドライブラリー
(株)ネエチア
中越クリーンサービス(株)
横バス観光(株)/貸し切りバス
(株)チャイルド本社 横浜営業所/教育・保育に関する商品・サービスの企画、販売、提供
(株)神奈川ワンダー社/教材・絵本
(株)ミルボード/全日私幼総合補償制度・生命保険・損害保険取扱、ご相談
(株)ロングストーン/Web/パンフレット制作、システム開発、人材派遣
ベルサンテスタッフ(株)/保育養成校が推奨する保育学生のための求人ポータルサイト
エンゼルフーズ(株)/飲食店、給食サービス業
テルウェル東日本株式会社/110番直結非常通報装置販売・保守、オフィス・衛生用品販売等
(株)プライス/総合商社、情報通信サービス
(株)CHaiLD/保育・介護分野におけるICT事業の企画・開発・販売・運用
リンクエイジ(株)/写真・動画撮影、ストレージ運用、関連商材物販サービス
(有)劇団かかし座/影絵及び影絵劇の企画・制作・演出・上演活動
サンスター技研(株)/除菌脱臭機・消毒除菌液の製造販売など
(株)One play./幼児・小学生を対象としたダンススクールの展開、プロスポーツチームとのイベント企画
(株)丸菱 関東営業所/食品包装資材、衛生用品(マスク、アルコール、使い捨て手袋、パーパタオルなど)の販売
(株)シンテン/遊具・体育器具の点検・修繕及び施設管理支援サービス
(株)SN食品研究所/学校給食用食品等及び関連する物資の研究開発ならびに製造販売
NEW 新規賛助会員
株式会社ジャクバ 取扱：園運営・園経営を教育コンテンツとノウハウでサポート 〒187-0041 東京都小平市美園町1-7-14 Tel. 042-345-6111
大日商事株式会社 取扱：医薬品卸・幹旋 〒535-0002 大阪府大阪市旭区大宮4-18-18 Tel. 06-6952-7015

関東地区教員研修大会 2022

**赤レンガは改装中 私たちも準備中
爽やかな姿でお会いしましょう**

2022年8月9日・10日の2日間、「関東地区教育研修大会」が横浜市みなとみらいの「パシフィコ横浜」で開催予定です。前回の開催から10年。今回も時代に即したテーマ、ゲスト、フォーラムなどの企画を鋭意現在準備中です。魅力あふれるイベントにぜひご参加ください。



県連HPに特設ページを開設し、関連情報をUPしていきます。

2022年8月9日(火)・10日(水)

at パシフィコ横浜 **PACIFICO YOKOHAMA**

令和3年度 幼稚園教育経営研修会のご案内

- ◆日 時 / 令和4年2月5日(土) 13:30~16:30(予定)
- ◆開催方法 / オンライン及びオンデマンドによる動画配信
- ◆対 象 / 加盟園 設置者・園長ならび後継者、またはこれに準ずる者
- ◆参加費 / 1名 2,000円
- ◆研修内容 /

基調講演

講師：文部科学省初等中等教育局 幼児教育課専門官 松本 向貴 様
「これからの幼児教育について(仮)」

特別対談

講師：学識経験者、県内私立幼稚園の設置者または園長、人材派遣会社による対談
「コロナ禍・少子化時代の人材確保について~神奈川の現状と今後~(仮)」

主 催：一般財団法人 神奈川県私立学校教育振興会
実 施：公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会

委託給食 公立学校給食 / 保育園・幼稚園給食 病院・高齢者福祉施設給食 等

仕出し弁当 幼稚園・保育園弁当 / 公立学校スクールランチ オフィス・工場弁当

飲料水 宅配

プロパンガス販売 給湯器設置・施工 キッチン・バスリフォーム 冷暖房 / 床暖房の設置・施工

「本気」でいるいるやる会社 / 株式会社 安田物産 YASUDA Co., Ltd. 〒242-0018 神奈川県大和市深見西 2-6-28 TEL 046-261-9700 HP http://www.yasuda-bussan.co.jp

祝 Pride of KANAGAWA

令和3年度 神奈川県私立学校教育功労者表彰
令和3年11月15日に、神奈川県庁本庁舎「正庁」において令和3年度神奈川県私立学校教育功労者表彰の表彰式が行われました。心よりお祝い申し上げます。



川崎 永先生 高野正基先生 小澤俊通会長 伊藤夏夫先生
 学校法人川崎学園 つくしの幼稚園 理事長・園長 川崎 永 先生
 学校法人湘南台学園 湘南台幼稚園 理事長 高野 正基 先生
 学校法人丸山学園 丸山幼稚園 理事長・園長 伊藤 夏夫 先生

神奈川県私立学校教育功労者表彰
私立学校教育の振興を図るため、知事所轄の私立学校の教職員、校長、園長、理事長及び設置者として、他の模範となる特に顕著な功績をあげた方に贈られます。

瑞宝単光章 今年も嬉しいお知らせがありました。心よりお祝い申し上げます。



学校法人山王台学園 認定こども園山王台幼稚園・風の子こども園 園長 田野岡 由紀子 先生

瑞宝単光章
国および地方公共団体の公務又は公共に対し、長年にわたり従事し功労を積み重ね、成績を挙げた方に贈られます。

From the Public Relations Section

編集後記
例年は園庭や近隣の小田原城址公園の桜や紅葉が色づくのを「きれいだな」「秋だな」と眺めていました。やがて木枯らしに吹かれて散っていく様子から、冬の到来を感じて過していました。

しかし、今年は11月中旬に葉が散ってしまった木々を見て「あ、すっかり散っている」と気がきました。様々な対応に追われ「心に余裕が無かったのかな」と振り返っています。さて、今はテレビの旅番組で楽しんでいる「旅」…「ここに行ったな」「次はここへ行きたいな」と。新型コロナウイルスの感染は減少していますが、年末には第6波がくるとも言われています。心から安心して教育・保育、日々の生活ができる時を待ち望みます。(広報室 島田美緒)

株式会社 **ネエチア**

見守り続けて **50年**

セキュリティのことならネエチア 0467-77-2222